

発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会
維持管理部会（令和4年度第1回）議事概要

日時：令和5年1月16日（月）13:00～14:30

場所：中央合同庁舎2号館1階共用会議室3A・3B

※WEBシステムを併用して開催

委員からの主な発言

維持管理における建設生産・管理システムの循環の改善について

- ・ 維持工事と修繕工事では、中身や求められる技術レベルや傾向が大きく異なる。維持工事と修繕工事を分けて分析すべきではないか。
- ・ 維持管理を含めた建設生産・管理システムの大循環についても議論する必要がある。
- ・ 長期性能保証制度について、性能の評価を行う際は、評価項目が特定の内容に偏らないよう注意が必要。
- ・ 性能規定発注方式について、性能に基づいて積算する方法を検討する必要がある。
- ・ 長期性能保証制度について、受注者がリスクを負い続けることに対して積算の改善を検討する必要がある。
- ・ 設計・工事連携型の発注の場合、修繕が必要になった原因の中に、地質リスクの要素が含まれる場合は、設計・工事に地質調査も加えることを検討する必要がある。
- ・ 維持工事と修繕工事を様々な特性（工事の場所に対する依存性、特殊性、専門性、定常性等）で分類し、それに対応した入札契約方式を検討する必要がある。
- ・ 契約期間の長期化と、修繕工事の積算の改善を検討する必要がある。
- ・ 性能規定発注について、性能に基づいて積算を行う方法を検討する必要がある。

維持管理における週休2日の取組

- ・ 特になし

道路除雪工における積算方法の改善

- ・ 特になし

—以上—